



防球ネットが設置される予定の中学校グラウンド
(設置工事費用を盛り込んだ 25 年度補正予算案を可決)

平成25年 第3回定例会

一般会計・事業会計の決算を認定 教育委員会委員の任命に同意

平成25年第3回定例会は、8月26日から9月17日までの23日間の会期で開きました。
今定例会には、各会計の平成24年度の歳入歳出決算認定をはじめ、25年度の補正予算案、教育委員会委員の任命についてなど、議案20件及び議員提出の意見書1件が提案され、本会議と委員会では慎重に審査した結果、全議案を原案のとおり承認・可決・認定しました。
また、請願1件、陳情1件を採択し、陳情1件を継続審査としました。
一般質問には8人の議員が立ち、町政の課題について活発な議論を展開しました。

12月は定例会開会月です ― 傍聴にお越しください ―

12月定例会の日程(予定)

12月3日	本会議(開会)
10日	本会議(一般質問)
11日	本会議(一般質問)
12日	総務産業常任委員会
13日	建設上下水道文教厚生 常任委員会
16日	予算決算常任委員会
17日	議会改革特別委員会
19日	本会議(最終日・採決)

※本会議と予算決算常任委員会は午前10時開会予定。その他の委員会は午後1時30分開会予定。

主な内容

24年度の決算を認定	2
請願・陳情	3
こんなことが決まりました(審議結果)	3
一般質問要旨	4～8
人事・意見書	8
議会のうごき	8

平成24年度決算

一般会計は6年連続の黒字

法人町民税の増収や町有地売却収入が黒字に寄与

平成24年度 各会計決算額

会 計		決 算 額		前年度比較
一 般 会 計		歳入	52 億 6,478 万 3 千円	-8.3 %
		歳出	50 億 6,039 万 1 千円	-10.0 %
事業特別会計	国民健康保険事業	歳入	17 億 979 万 4 千円	8.6 %
		歳出	16 億 907 万 1 千円	7.3 %
	下水道事業	歳入	6 億 474 万 1 千円	-10.5 %
		歳出	5 億 8,575 万 1 千円	-11.3 %
	介護保険事業	歳入	11 億 8,936 万 6 千円	14.7 %
		歳出	11 億 1,701 万円	9.1 %
	後期高齢者医療保険事業	歳入	2 億 1,500 万 3 千円	5.1 %
		歳出	2 億 786 万 4 千円	5.0 %
	自動車駐車場事業	歳入	7,146 万 7 千円	229.9 %
		歳出	7,146 万 7 千円	460.6 %
財産管理特別会計 (三区)		歳入	4,593 万円	5.0 %
		歳出	263 万 9 千円	-3.6 %
水道事業会計		収入	4 億 8,972 万 2 千円	-6.5 %
		支出	5 億 2,380 万 9 千円	-8.3 %

一般会計の主な事業

円明寺東・下植野団地側溝改修	3,811 万 4 千円
災害用マンホールトイレ設置工事	546 万 7 千円
大山崎小学校 屋内運動場外壁改修・トイレ改修工事	1,611 万 7 千円
第二大山崎小学校 屋内運動場外壁改修・トイレ改修工事	1,674 万 7 千円
旧庁舎解体工事	1,370 万円
保育所エアコン設置工事	441 万円
排水ポンプ場大規模改修工事	1,056 万 3 千円
消防車両購入費	1,984 万 5 千円

平成24年度決算を審査する予算決算常任委員会
は、9月9日、10日、11日の3日間開催されました。町長、副町長、教育長、各担当者に詳細な説明や資料提出を求め、慎重に審査を行いました。質疑応答終了後の採決では、一般会計、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療保険事業及び水道事業会計は賛成多数、その他の決算は全員賛成により認定すべきものと決しました。

予算決算常任委員会の 主な質疑・答弁

〔一般会計〕

問 長期金利が上昇すると、財政に対するインパクトは小さくない。どのような認識を持っているのか。

答 今後、金利が上昇する可能性が高いと認識している。借り入れ額について、十分検討を要すると考えている。

問 防災倉庫の自身は、国や府などの基準や指導

があるのか。

答 基準や指導はない。設置時に、町が必要と判断した道具を設置している。

問 社会福祉協議会への補助金は、こういった率で算出しているのか。

答 協議会の総事業費の25パーセントを、町補助金として支出している。

問 臨時職員の単価を上げた理由は何か。

答 他市の賃金が高いこともあり人材の確保が非常に難しいため、苦渋の

決断で賃上げを行った。

問 天王山周辺森林整備事業の活動拠点小屋は、どのような活動拠点なのか。

答 ボランティア団体に使っていたく前提で建築した。

問 社会教育団体に対する補助金の見直しは、進んでいるのか。

答 外部評価の意見を受けて、補助金の基準等を事務局で整理し、社会教育委員に投げかけようとしているところである。

問 公園の木にプレートを付けるようなボランティア活動を、町は認めてくれるのか。

答 危険なものではないば問題ない。

〔国民健康保険事業会計〕
問 加入者数が変わらない中、特定健診の受診者数が増えているが、手応えはあるのか。

答 確かに年々増えてきている。受診の勧奨を進め、早期発見・診療することで医療費の削減につなげたい。

〔下水道事業会計〕

問 使用料が減少している要因は何か。

答 大口では回収水や組み上げ水の有効利用、小口では使用水量が減少していることが要因と考えられる。

〔水道会計〕

問 水道水と地下水の割合（5対5）を変える考えはあるのか。

答 2水源水という位置づけであり、片方に支障が生じて、もう片方が補える関係が必要。割合を変える考えはない。

請 願 ・ 陳 情

行幸啓記念碑建立に
関する請願書

請願項目

● 行幸啓記念碑を建立す
ること

審議結果

総務産業常任委員会で審
査し採択。本会議最終日
は、賛成多数により採択。

国に対して

「消費税増税中止を
求める意見書」の
提出を求める請願

請願項目

● 消費税増税中止を求め
る意見書を国に送付す
ること

審議結果

総務産業常任委員会で審
査し不採択。本会議最終
日は、賛成少数により不
採択。

西国街道狭小路面の
改善についての
陳情書

陳情項目

● 歩道橋を道路上に設置

するなど、狭小道路問
題の解決を図ること

審議結果

建設上下水道文教厚生常
任委員会で審査。陳情者
を参考人招致し詳細に聞
く必要があるため、継続
審査とした。本会議最終
日も、賛成多数により継
続審査とした。

鏡田地域コミュニティ
施設建設についての
陳情書

陳情項目

● 鏡田地域内にコミュニテ
ィ施設を建設すること

審議結果

総務産業常任委員会で陳
情者を参考人招致して審
査し採択。本会議最終日
は、全員賛成により採択。



こんなことが決まりました（審議結果）

【承認した議案】

▼ 専決処分の承認を求めることについて（平成25
年度大山崎町一般会計補正予算（第3号））
▼ 専決処分の承認を求めることについて（平成25
年度大山崎町一般会計補正予算（第4号））

【原案可決した議案】

▼ 大山崎町職員の給与に関する条例の一部改正に
ついて
▼ 大山崎町条例の一部改正について
▼ 大山崎町国民健康保険税条例の一部改正につい
て

▼ 平成25年度大山崎町一般会計補正予算（第5号）
▼ 平成25年度大山崎町国民健康保険事業特別会計
補正予算（第1号）
▼ 平成25年度大山崎町介護保険事業特別会計補正
予算（第1号）
▼ 平成25年度大山崎町後期高齢者医療保険事業特
別会計補正予算（第1号）
▼ 平成24年度大山崎町一般会計歳入歳出決算認定
について
▼ 平成24年度大山崎町国民健康保険事業特別会計
歳入歳出決算認定について
▼ 平成24年度大山崎町下水道事業特別会計歳入歳
出決算認定について
▼ 平成24年度大山崎町介護保険事業特別会計歳入
歳出決算認定について

▼ 平成24年度大山崎町後期高齢者医療保険事業特
別会計歳入歳出決算認定について

▼ 平成24年度大山崎町自動車駐車場事業特別会計
歳入歳出決算認定について

▼ 平成24年度大山崎町大山崎区財産管理特別会計
歳入歳出決算認定について

▼ 平成24年度大山崎町円明寺区財産管理特別会計
歳入歳出決算認定について

▼ 平成24年度大山崎町下植野区財産管理特別会計
歳入歳出決算認定について

▼ 平成24年度大山崎町水道事業会計決算認定につ
いて

【同意した議案】

▼ 大山崎町教育委員会委員の任命について

【採択した請願】

▼ 行幸啓記念碑建立に関する請願書

【不採択とした請願】

▼ 国に対して「消費税増税中止を求める意見書」
の提出を求める請願

【採択した陳情】

▼ 鏡田地域コミュニティ施設建設についての陳情書

【継続審査とした陳情】

▼ 西国街道狭小路面の改善についての陳情書

【原案可決した意見書】

▼ 道州制導入に断固反対する意見書

町政を問う

一般

質問

9月定例会では8議員が一般質問に立ち、当面する町の課題について、考えをたしました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

一部要旨

波多野底砂 議員……P4

- 開発指導要綱の細則・指導実態
- 鏡田地域の宅地開発 他

岸 孝雄 議員……P5

- 西国街道における歩行者の安全対策
- 本町の危機管理体制強化策
- 一般ごみの減量化 他

小泉 満 議員……P5

- ふるさと納税制度の取り組み
- 子ども・子育て支援策
- 訪れたい観光資源の「竹聴居」 他

朝子 直美 議員……P6

- 生活保護基準の引き下げと就学援助
- 公共交通の確保・拡充

森田 俊尚 議員……P6

- 子育て支援センター「ゆめほっぺ」
- 町体育館の民間委託
- 旧庁舎跡地の利用 他

高木 功 議員……P7

- インフラ設備老朽化の取り組み
- 災害時要援護者避難支援事業
- 自主防災組織の充実強化と拡大

堀内 康吉 議員……P7

- 合併の推進と町長公約の進捗
- 水問題の解決と今後の展望

北村 吉史 議員……P8

- 企業税収確保の施策
- 売却予定の旧庁舎跡地 他



波多野底砂議員

問 開発指導要綱の指導と実態は
答 要綱の基準に沿って適切な指導を行っている

問 鏡田地域の開発にあたり、開発指導要綱を精査しているか。本開発、要綱の問題点とは何か。

答 要綱のインフラ整備に関する負担の考え方は、何ら問題ないと認識している。

問 地域の懸念や要望は、精査しているか。

答 以前からご意見やご要望をいただいております。その内容を踏まえ開発者と協議している。一方、過大な負担を求めることがないよう、適切な開発指導を行っている。

【鏡田地域の宅地開発】

問 開発すると、大量の鉄砲水の出所となりうるが、指導の内容は。ミニ呑龍（どんりゅう）（※）設置を指導するべき。

答 開発区域からの雨水排水は、すべて五位川に流出させるよう指導している。これにより、水路の排水能力を超えない計画となるため、ミニ呑龍の設置を求めることはできないと考えている。

※ミニ呑龍とは

「いろは呑龍トンネル」という、一時的に雨水を貯蓄する地下トンネルが向日市にあります。同様に、雨水を貯蓄する施設を指します。

問 保育所前に、幅6メートルの接続道路を整備すべきと考える。

答 接続道路の取り扱いが都市計画法施行令で規定されており、計画されている道路は、この基準に沿った形態となっている。よって、保育所前の接続道路の整備は必要ないと考えている。

問 旧矢崎邸跡地の分譲は同一事業者であり、要綱どおり6メートルの道路を接続すべきである。

答 開発又は建築確認申請の事前協議など、正式な手続きが行われていないため、開発指導等は行っていない。

問 この道路は、まちづくり上重要と認識しており、町への寄附について開発者と協議している。寄附が行われた場合は、舗装化を検討する。

問 下水道の接続について尋ねる。

答 開発地域西側の汚水管への接続は困難であり、南側及び東側の下水本管への接続を考えている。これらの下水本管は、今回の開発による接続に対応できる施設となっている。

その他「町の開発指導要綱」「中央公民館の使用規定」「阪急電車線路壁面のコンクリート化」「二市一町の合併推進」「府道の町道への移管に伴う都市計画道路路見直し」「都市計画画道路見直し」「都市計画税創設」「阪急バス路線の運行計画変更」について質問がありました。



岸 孝雄議員

問 西国街道の歩行者安全対策は
答 名神高架下への信号設置を進めている

問 名神高架下の交差点
信号の設置について、現
在の進捗状況を伺う。

答 信号設置に伴う信号
待ちのスペースを確保す
るため、京都府による府
道拡幅が計画されており、
用地補償に伴う土地調査
が行われている。

問 西国街道（小泉橋、
名神高速間）について、
「時限一方通行」など、時
限的な交通規制の検討及
び試験実施をすべきと考
える。

答 交通規制の実施は、
「にそと」側道開通後の交
通量を確認したうえで判
断する。試験実施も同様
に確認し、実施の可否を
含む検討を行う。

【危機管理体制強化策】

問 次の項目について、
自己評価と体制強化策を
伺う。①人員の専門性と
力量②コミュニケーション
体制の確立③緊急事態
の想定、及び対応策の有
効性の検証

答 ①総務課に危機管理
係を設置し、体制を強化



信号設置予定の交差点

した。防災に関する専門
知識を持つ者はいないが、
研修等に積極的に参加さ
せている。②顔の見える
関係の構築が重要と考え
ている。各種団体と、立
場や役割等の相互理解が
深められるよう、信頼関
係の構築に努める。③よ
り緻密に災害対策業務を
想定し対策を考えること、
平時から危機管理意識を
持つことなどが、課題と
認識している。地域防災
計画の改定にあわせ、必
要な修正を行うよう指示
をしていきたい。

問 11月17日に防災訓練
の実施を予定している。
土砂災害の発生がひっ迫
している想定し、より
実際に即したものを計画
している。避難生活体験
等も、今後十分検討する。
【一般ごみの減量化】
問 乙訓二市一町の共通
の課題であるごみの減量
問題は、共同で議論する
必要があると考える。

答 ゴミの問題は、二市
一町だけでなく、大阪湾
臨海埋立処分場を利用す
る近畿圏自治体共通の課
題である。このため大阪
湾広域処分場整備促進協
議会に参加し、廃棄物減
量化の取り組みや、課題
の解決策を検討している。
問 一般ごみの、乙訓環
境衛生組合への搬入量の
減量策について伺う。

答 大山崎町一般廃棄物
処理基本計画を策定し、
ごみの削減目標値を設定
し施策を推進している。
その他「人口動態予測を
踏まえた町づくり」につ
いての質問がありました。

小泉 満議員

問 ふるさと納税制度の取り組みは
答 要綱を制定し、PR活動を行っている

問 ふるさと納税制度の
効果的・円滑な活用を伺
う。

答 大山崎町天王山ふる
さと応援寄附金要綱を制
定し、町ホームページで
PRを行っている。

【納税額の推移は。】

答 平成21年度が3件で
2万7千円、平成22年度
が0件、平成23年度が1
件で2万円、平成24年度
が0件、となっている。

問 納税額を増やす施策
を伺う。

答 広報誌やホームページ
による情報発信を引き
続き行い、寄附金制度の
周知に努める。

【子ども・子育て支援策】

問 「手足口病」が全国的
に流行している。保育所
での集団生活や、保護者
への指導はどのようにし
ているのか。

答 感染症予防に細心の
注意を払っており、厚生
労働省が策定したガイド
ラインに基づいた対策を
講じている。また、児童
の体調を見守り、感染の

可能性のある児童の保護
者に、早期の医療機関受
診を呼びかけている。

【聴竹居の観光活用】

問 情報発信、PRはど
のようにしているのか。

答 町広報誌や観光案内
図、観光案内板等で周知
を行っている。また、公開
活動を行っている聴竹居
倶楽部（くらぶ）主催の
催し物について、町広報
紙への掲載や事業の後援
等を行っている。他の観
光施設と関連付けて、付
加価値の高い観光に取り
組んでいく。

問 国の登録有形文化財
の指定を求める考えはあ
るのか。

答 教育長

所有者や京都府、町と
の間で、そうした段階の
協議には至っていない。

問 個人所有で保存・維
持管理していくのは大変
である。京都府に購入す
るよう要望してはどうか。

答 教育長

京都府と協議等を行っ
た経過もなく、所有者の

意思確認にも至っていな
い。購入を要望すること
は、様々な要件を欠いてい
るものと判断している。

【高齢者の福祉対策】

問 住民の平均寿命や順
位、平均寿命を延ばす施
策を伺う。

答 平成22年市区町村別
生命表では、「男性」が
80・4歳で265位、「女
性」が87・0歳で310
位となっている。健康寿
命を延ばすため、「病氣
を早期発見し、早期治療
を促す」、「重症化予防」、
「健康づくり」についての
取り組みを行っている。
その他「定年退職職員の
活用」についての質問が
ありました。



朝子 直美議員

問 生活保護基準引き下げによる就学援助への影響は答引き下げ後も引き続き補助制度の対象としている

問 8月より生活保護基準が引き下げられた。「就学援助」の基準も引き下がり、対象世帯が対象外となる可能性がある。対象から外れないよう基準の引き上げを行うべき。また、支給項目を広げるべきと考える。

答 教育長

25年度当初に支援を受けていた者は、生活保護基準の見直し以降も補助制度の対象とするよう、文部科学省から通知があった。本町は、この通知の趣旨に沿って制度を運営している。クラブ活動に関する援助は、補助の対象としていないが、競技会や演奏会などの遠征費用等に対する補助金制度を従来から行っている。

問 全国各地で、生活保護受給家庭や一人親家庭の子ども達を対象にした、無料の学習支援の取り組みが広がっている。本町も、無料の学習支援に取り組んではどうか。

答 町福祉団体が、夏休み期間中に、ひとり親家庭の児童を対象とした「夏休み勉強会」を実施した。今後も、町福祉団体や乙訓保健所と連携を図りながら、取り組みについて検討する。

問 子どもの医療費助成制度を拡充し、中学校卒業まで無料にすることを求める。

答 財政状況を踏まえ、実現可能性を検討する。京都府や国への要望事項にもあげ、他の施策も合わせた総合的な観点から、最適な子育て支援のあり方を検討する。

【公共交通の確保・拡充】

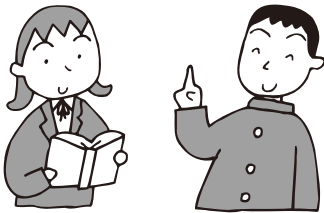
問 「コミュニティバス凍結」の方針を撤回し、公約実現に向け前向きに進めることを改めて求める。

答 昨年8月の豪雨による浸水被害が発生したことから、治水事業の見直しを重点施策として推進するため、一旦凍結させていた。災害対策事業の推進を図るため、

ご理解いただきたい。

問 「住民の足」を守るため、バス会社に補助金を出すことも含めた、あらゆる努力をするべきと考える。また阪急バスに對し、住民説明会を開くよう求めるべきと考える。

答 補助金を出すことは、財政状況等から大変厳しいと考えている。今回の路線変更は、阪急バスの経営判断により進められている事業計画であり、住民の方などの意見を踏まえ、要望を行っている。改めて住民説明会の開催を求めることは考えていない。



森田 俊尚議員

問 子育て支援センター「ゆめほつべ」の運営形態は答「ひろば型」であり、相互に交流できる場を提供

問 子育て支援センター「ゆめほつべ」の運営形態を伺う。

答 国の補助事業の分類でいう「ひろば型」である。子育て中の親子が気軽に集い、相互に交流できる場を提供し、子育て相談や情報交換ができる形態である。

問 公民館の改修工事後は公民館に戻るそうだが、なぜ保健センターで運営しないのか。

答 保健センターは、地域保健の拠点として事業を運営しており、空室の確保が難しい。4年間で培われた「公民館内のゆめほつべ」というイメージは、一朝一夕には出来ない重要な財産であり、当面の間は公民館での運営を継続していきたい。

問 教育委員会が所管する中央公民館で、この事業をする意義を伺う。

答 公民館という地域活動の拠点に、子育て支援活動の拠点を設置することとは、「所管の垣根を越え

たサービス」としての意義があると考えている。

後どのように町域が変貌していくのか説明いただきたい。

問 町体育館の運営を民間に委託することについて、進捗状況を伺う。

答 教育長

法人格を持った団体に、指定管理者制度に基づく施設管理の代行を行っていただく方向で検討しており、その受け皿として、大山崎町体育協会のNPO法人化及び指定管理について協議・検討している。

【旧庁舎跡地の利用】

問 どのような建物がふさわしい、またはふさわしくないとお考えか。

答 町都市計画マスタープランでは、当該箇所を「シビックゾーン」と位置付けている。公共的な役割を果たす施設であり、地元雇用の面からも一定の効果のあるものが望ましいと考えている。

【阪急新駅開業に伴う町の姿】

問 新駅開業に伴い、今



大山崎町体育館

高木 功議員

問 インフラ設備老朽化への取り組みは
答 予防保全型の維持管理により長寿命化を図る

【問】 橋や河川施設等の社会資本（インフラ）は、急速に老朽化を迎える。これからの課題を伺う。

【答】 大山崎町橋梁長寿命化修繕計画を、平成24年度に策定しており、策定に伴う橋梁調査を22年度に実施した。橋梁の設置環境や老朽化に合わせた修繕を計画的に行い、損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う予防保全型の維持管理で長寿命化を図る。

【災害時要援護者 避難支援事業】

【問】 支援要援護者の登録申請受付の状況を伺う。

【答】 大山崎町避難支援プラン全体計画を策定し、支援が必要な要援護者のうち希望者を名簿に登録している。しかし、登録者数は8月現在267名であり、対象者に対して少ないため、さらに広く周知していく。

【問】 実際の支援では、町内会や自主防災組織などの協力が重要になると考

えるが現状を伺う。

【答】 名簿は、町、社会福祉協議会及び民生委員の三者で共有している。しかし、三者のみでは支援が困難なため、現在、改めて登録者に同意を取り直している。

同意を得られた方の名簿は、自主

防災組織や町内会・自治会、消防団にも配布し支援体制を整備していく。

【自主防災組織の充実強化と拡大】

【問】 今後の自主防災組織の充実強化と拡大対策について伺う。

【答】 活動が活発な自主防災組織には、定年退職された世代のリーダーが活動をけん引しているとい



松田橋

堀内 康吉議員

問 町長公約である合併推進の進捗は
答 今任期中に一定の方向性を出すべく努力している

【問】 「合併推進」の目的は、どこにあるのか。その対象や期限は、どのように想定して掲げたのか。

【答】 合併の目的は、事務事業の広域化による行政効率の向上を目指して、乙訓二市一町の広域行政に取り組みうとするものである。対象は長岡京市、向日市の乙訓二市であり、今任期中に一定の方向性を出すべく努力しているところである。

【問】 例えば「公立保育所の維持」、「中学校給食の実現」という公約に掲げた事業の実施は、「合併推進」という公約とは明らかに矛盾すると思える。

【答】 合併の際は、市町間の施策の違いは当然にあり、協議の場で調整を図るものと考えている。よって矛盾するとは考えていない。

【問】 住民団体が、長岡京市への編入合併の取り組みを進めている。団体が主張している「目的」「理由」等は、町長公約と合

致したものなのか。

【答】 私の選挙公約は、乙訓二市一町の対等合併を目指すものであり、長岡京市への編入合併は今のところ考えていない。したがって、住民団体の目的・理由と私の公約は、合致するものではない。

【水問題の解決と 今後の展望】

【問】 町の水道事業の課題は何か。すべて京都府任せの水道事業計画で解決が図れるのか。その解決の時期はいつなのか。

【答】 水道事業の経営の問題と、耐震化を含む施設整備の、2点の課題を認識している。

経営の問題は、府営水道の受水費が大きな負担となり経営を圧迫している状況である。これま



夏目新第2浄水場

水場間の料金格差の平準化について要望してきたが、3月の府営水道ビジョンにおいて、具体的な方針が示された。このように一歩ずつ前進しており、今後も継続して要望活動を行っていく。

施設整備の問題は、水道施設整備計画を策定し計画的に耐震化率を高めていく予定としているが、財源確保の目途が立たないことから着手は極めて難しい状況にある。今後議会と相談し、財源の見通しを立て、施設の耐震化を進めていきたい。

北村 吉史議員

問 企業税収確保の施策は
答 国の優遇措置が得られる制度により企業誘致する

問 企業税収確保の施策をどのようにお考えか。

答 本町は、条件を満たした工場等の新設に対し、

国や府から優遇措置や補助金が得られる地域となっており、これらを活用した企業誘致に努めていきたい。町内企業に対しては、町内での設備投資を増やしていただくよう働きかけるなど、企業税収の確保に取り組んでいる。

問 売却予定の旧庁舎跡地の実勢価格、また地域の雇用確保と企業誘致について伺う。

答 町有地売却収入として1億2千万円を計上しているが、不動産鑑定した価格を踏まえ売却を行う予定である。

跡地利用は、福祉施設を中心に考えており、プロポーザル方式による売却により公共的な役割を果たす施設の誘致を図りたい。また、可能な限り地元雇用を行うよう募集要項に付加し、雇用を確

保することも検討する。

問 町北部の再開発納税世代人口増のための施策を伺う。

答 現在、都市計画マスタープランの見直しを行っており、良好な住環境を継承するため、地域住民の方とともに考えていきたい。多摩ニュータウン方式は、有効な方法のひとつと考えるが、多くの課題がある。先進事例の収集・調査を行い、どのような施策を講じるべきか、財政状況や人員体制を踏まえ検討する。

問 行政のスリム化と、出先機関・保育所等の経営の複合化を伺う。

答 施設整備面の複合化は、庁内のプロジェクトチームで議論を重ね、複合施設建設の方向性を見出したところである。しかし、あくまでも一つの案であり、決定されたものではない。

運営面の複合化は、町営駐車場の運営を民間に委託しており、町体育館

やふるさとセンターについても、指定管理者制度の活用も含め検討を進めている。

問 人事考課制度の導入を検討するべきと考えるが、いかがか。

答 人事評価制度という形はとっていないが、日常業務を通じた勤務実績、勤務態度や職場上司の意見を踏まえ、総合的な判定に基づいた人事考課を行っている。

その他、「コミュニティバス」「水道事業の広域化」についての質問がありました。



旧庁舎跡地

人 事

教育委員会委員に

清水 清氏

8月31日付で任期満了となる教育委員会委員について、清水清氏(63)＝円明寺金蔵＝の任命に同意しました。清水清氏は、後日開催された臨時の教育委員会において、教育長に任命されました。

意 見 書

◆道州制導入に 断固反対する意見書

概要

国が国会に提出中の道州制に関する法案は、導入後の国の具体的な形を示していない。再編された「基礎自治体」は、現在と比べ住民との距離が遠くなり、住民自治が衰退することは明らかである。多様な自治体の存在を認め活力を高めることが、国力の増強につながると確信しており道州制の導入には反対する。

審議結果

本会議最終日に、賛成多数により原案のとおり可決。衆・参議院議長、内閣総理大臣及び関係大臣に提出。

議会のうごき

9月

2日 第3回定例会一般質問(1日目)

議会運営委員会

3日 第3回定例会一般質問(2日目)

総務産業常任委員会

4日 建設上下水道文教厚生常任委員会

予算決算常任委員会

6日 予算決算常任委員会

予算決算常任委員会

9日 予算決算常任委員会

予算決算常任委員会

10日 予算決算常任委員会

議会改革特別委員会

12日 議会改革特別委員会

全員協議会

13日 総務産業常任委員会

第3回定例会本会議

17日 議会運営委員会

乙訓環境衛生組合議会

18日 乙訓福祉施設事務組合議会

乙訓消防組合議会

19日 乙訓消防組合議会

11月

11日 市町村議会委員長研修会

1日 議会運営委員会

16日 建設上下水道文教厚生常任委員会

岡山県井原市議会視察

18日 香川県宇多津町議会視察

議会運営委員会

25日